

(様式1)

平成19年度 事務事業評価表

記入年月日	平成19年4月2日	記入者		連絡先	2852
平成18年度部名	環境事業部	課名	ごみ減量推進課	課長名	江成 博
平成19年度部名	資源循環部	課名	資源循環推進課	課長名	宮崎 孝司
事務事業名	ペットボトル・白色トレイ回収事業				
予算上の事務事業名	ペットボトル・白色トレイ回収事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			21210	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくれます				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				
施策名	第1施策 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	計画の策定・推進	▼	5 事業開始年度	平成11年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
家庭から排出される容器包装のリサイクルを推進するため、市内のスーパー、コンビニエンスストア等小売店の協力を得て、拠点回収方式によりペットボトル及び白色トレイの回収を実施し、ごみの減量と資源の有効活用を図る。					家庭から排出されるペットボトル及び白色トレイ
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	市内のスーパー、コンビニエンスストア、公共施設等を排出拠点とし、拠点(店頭)回収方式により事業実施。				
回収拠点	ペット：273箇所 トレイ：71箇所				
年間回収量	ペット：710t トレイ：16t				
再商品化経費	ペット：17,087,009円 トレイ：1,072,818円				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	・ペットボトル等分別回収事業 平成18年10月から、ペットボトル及びプラスチック製容器包装(白色トレイを含む)のステーション回収を開始。				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	37,659	25,827	18,823	12,833	12,833
一般財源	37,659	25,827	18,823	12,833	12,833
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	35,030	33,820	26,280	26,280	32,610
事業コスト合計	72,689	59,647	45,103	39,113	45,443
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	ペットボトル回収			対象名称 と単位	回収量(t)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	37,659	25,827	18,823	12,833	12,833
対 象 数	282	287	273	284	284
単位あたり経費(円)	133,543	89,990	68,949	45,187	45,187
前 年 度 比		0.67	0.77	0.66	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	ペットボトル回収拠点数率（％）	指標式と指標の説明	本年度回収拠点数 / 前年度回収拠点数 × 100		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	282.0	287.0	273.0		
目標	279.0	282.0	287.0	273.0	273.0
目標達成度（％）	101.1	101.8	95.1		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	ペットボトル回収量率（％）	指標式と指標の説明	本年度回収量 / 前年度回収量 × 100		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	743.0	766.0	710.0		
目標	664.0	743.0	766.0	710.0	710.0
目標達成度（％）	111.9	103.1	92.7		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		拠点回収は、曜日に関係なくいつでも排出できる利便性があり、ステーション回収を補完するものとして、収集方法等の見直しを行いながら、当面継続していくことが適当である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
リサイクル協力拠点の拡充 業務の委託化の検討			再任用、嘱託職員の職場の確保 リサイクル協力店との負担区分の明確化 エコショップ認定制度との連携		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			